

指定管理者施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート(平成27年度事業分)

1 施設の概要

施設名	山梨県立美術館	所管課	教育委員会 学術文化財課
所在地	甲府市貢川1-4-27	設置年月日 (改築年月日等)	昭和53年11月3日
指定管理者	SPS・桔梗屋グループ		
設置根拠 (法律、条例等)	山梨県立美術館設置及び管理条例		
設置目的	美術に関する県民の知識及び教養の向上を図り、県民文化の発展に寄与するため。		
主な施設内容 (定員等)	○建築面積 約 6,197㎡ ○建築延面積 約12,019㎡ ○建物の構造 鉄筋コンクリート造、地上2階(一部3階)建て ○施設の内容 ・ミレー館2室(800.83㎡) ・常設展示室3室(976.57㎡) ・萩原英雄記念室(171.95㎡) ・特別展示室4室(1,148.51㎡) ・県民ギャラリーA・B・C室(720.14㎡) ・総合実習室1室(194.60㎡) ・工房(184.59㎡) ・美術図書室(63.33㎡) ・収蔵庫 ・ロビー・事務室 ・レストラン(197㎡) 等		
主な業務内容	・施設の利用の承認に関する業務 ・施設及び設備器具の維持保全に関する業務 ・一般展示室及び工房等を一般の使用に供することに関する業務		

2 類似施設・近隣施設

名称 施設内容 利用状況等	県内には、博物館法の規定に基づき登録されている美術館と、これに相当する美術館が11館あり、それぞれ各地域の資源を活用した特色ある展示を行っている。
---------------------	---

3 利用状況

単位：人、%

		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度 (目標値)
利用者数	利用者数	346,911	436,700	398,540	
	利用者数合計	346,911	436,700	398,540	
	目標値	374,000	429,800	392,200	396,500
	目標値設定の考え方及びその理由	美術館の入館者総数			
	対25年度比	-	125.9%	114.9%	114.3%
利用率		1,134人	1,418人	1,298人	1,295人

4 指定管理業務の収支状況

単位：円、%

		平成26年度	平成27年度 (計画値)	平成27年度 (実績値)	平成28年度 (計画値)
収入	施設利用料	0	0	0	0
	指定管理者委託料	304,953,000	294,205,000	294,205,000	283,719,000
	その他	49,000,000	36,002,000	32,916,000	38,091,000
	収入合計(A)	353,953,000	330,207,000	327,121,000	321,810,000
支出	人件費	92,709,000	92,347,000	93,426,000	93,888,000
	県への納付金	0	0	0	0
	管理運営費	249,282,000	237,860,000	213,448,000	227,922,000
	うち外部委託費(B)	79,381,000	78,973,000	78,973,000	78,973,000
支出合計(C)		341,991,000	330,207,000	306,874,000	321,810,000
収支差額(A-C)		11,962,000	0	20,247,000	0
外部委託比率(B÷C)		23.2%	23.9%	25.7%	24.5%
利用者一人当たりの経費		698	750	738	716

5 利用者満足度

実施方法等	実施時期:平成27年4月～平成28年3月 実施方法:来館者へのアンケート 回答数 :729人
-------	--

単位:%

調査項目	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満
①施設設備の充実度	74.4%	20.5%	2.1%	3.0%
②施設設備の整備状況	74.8%	20.2%	2.3%	2.7%
③サービスの内容	69.7%	22.8%	3.7%	3.8%
④また来館したいか	96.6%	0.0%	0.0%	3.4%
施設全般の満足度	70.1%	23.4%	3.8%	2.7%

利用者の意見	<p>〈肯定意見〉 ミレー作品について(手で見るミレー含む)、展覧会の内容、施設の清潔さや雰囲気、スタッフの対応(表情、接遇)</p> <p>〈否定意見〉 作品パネルの文字サイズ、展示室の空調、スタッフの対応(展示室での声がけ)、公共交通機関の充実、交通アクセス</p>
利用者の意見への対応	<p>1週間に1度、アンケートの内容を県直営部門、指定管理者が共有し、対応を協議している。緊急度の高いものやソフト面でカバーできるものを優先に実施。富士山の窓からの景観について、公園内の樹木が邪魔をし富士山が十分見られないという意見もあり予算取り等含めて対策を検討、実施した。</p> <p>アンケートへの記載はなかったが、身障者パーキング(第1駐車場)からエントランスまでの距離が遠く不便という声が多かった。第1駐車場に土日は車椅子を常時設置しご利用頂く、また事前のお問い合わせがあった場合は第2駐車場をご案内するなどソフト面での改善をした。</p>

6 評価結果

	指定管理者の自己評価	施設所管課の評価
維持管理業務	指定管理者業務仕様書に基づき年間計画を立案し実施。法令順守を前提に、専門業者に委託し、保守点検、警備、清掃等維持管理を効果的に行った。また、緊急度が高い案件は、県直営部門と調整を密に行い即時対応するなど、安心安全な管理を実施することが出来た。	業務仕様書、業務計画書に基づき、適正に実施されていた。
運営業務	業務計画書に基づき知見豊かな職員を配置し、円滑な運営を行うとともに、入館者や近隣住民からの要望にも柔軟に対応した。また、突発的な事項には、館内で十分調整した上で進めるなど、館一体となり運営業務に取り組むことが出来た。	業務仕様書、業務計画書に基づき、適正に実施されていた。
利用状況	特別展「ピカソ展」をはじめ例年来館者が伸び悩む冬季開催の「ルドゥーテのバラ展」も好評で、一年間を通じて多くのお客様をお迎えすることができた。「ミレーの美術館」であることを軸とし、特別展の広報にも注力することで両輪での集客を行うことができた。	ポスターの掲示や雑誌への掲載、WEB広告、他の民間事業者とのタイアップなど、様々な媒体を用いて積極的な広報を行っている。 今後も目標値の達成ができるよう、広報活動・利用者サービスの充実に取り組んでほしい。
収支状況	電気・灯油共に節減を進め、使用量を震災時並みに抑える事ができたこと、電力会社の見直し等により単価抑制に努めたこと、また原油価格が下落したことが奏功し、光熱費の大幅な削減に至っている。また、その削減した費用を新たな事業活動等に使用することで、活動の充実に努めることが出来た。 ※3施設一体管理であり、トータルでは黒字会計	電力自由化による新電力事業者の活用など、効率的な維持管理を行っている。今後もより一層の効率化に努めると共に、削減した経費の利用者還元にも努め、利用者サービスの向上を図ってほしい。
自主事業		
利用者満足度	全体として昨年に比べ「満足・十分」と回答されたお客様の比率が増加した。一方、「施設全体の充実度」のポイントが減少しているため、お客様のご意見・ニーズを把握し、満足を得られる活動が展開できるよう取り組んでいきたい。	毎月の定期報告における苦情・要望等への対応は概ね適切であると思われることから、引き続き利用者満足度の向上に努めてほしい。

<p>運営目標の達成状況</p>	<p>業務仕様書等に示された業務を適切に実行。入館者の獲得目標として掲げていた数値も達成し、1年間を通じて賑わいを創出することが出来た。また、展覧会の実行委員会への参画や、県直営部門の協力を得て新規自主企画事業にも積極的に取り組むなど、館一体となった活動を推進し、新たな来館者の誘致に繋げることが出来た。</p>
<p>施設所管課による総合的な評価及び指導事項</p>	<p>県直営部門と連携し、経費の削減や広報活動の拡充など、効率的な運用管理を行っている。 特に、親子連れをターゲットとした鑑賞環境整備への取り組みなど、利用者増加に向けた新しい客層開拓への取り組みは評価できる。 今後は、2020年のオリンピック・パラリンピックに向け、外国人対応の充実等、より一層の利用者増加、利用者サービスの向上に努めてほしい。</p>
<p>施設所管課の指導事項に対する指定管理者の対応状況</p>	<p>県直営部門と連携し、効率的な管理運営を行うとともに、広報活動や外国人対応に向けたスタッフ教育等の充実により、一層の利用者増加・サービスの向上に努める。</p>

7 管理体制(組織図)

平成27年4月1日現在

